



CLARINET へようこそ

9 視写

9-1 視写の効果 1…全般

1. 集中力をつける。
2. 字が上手になる。
3. 文章表現の技法を覚える。
4. 表記のルールを覚える。
5. 暗誦や記憶に役立つ。

9-2 視写の効果 2-例えば、休暇中の「一日十分間視写」

1. 毎日続ける「根気」
2. 勉強時間の中に割り振る「計画性」
3. 準備や片付けをする「整理整頓」
4. 手本や文章を正確に読み取る「注意力」
5. 丁寧に書き続ける「集中力・持続力」
6. 書き終えてから点検する「自己省察(せいさつ)力」

9-3 視写の指示方法

指示

1. 文学的文章(物語・小説)の場合
「全文の中から、次のように思った文を、3文選んで視写しなさい。」
 - いいな
 - 上手だな
 - 感動した
 - 印象に残った
 - この作品で大事なところだ
 - (自分が作文に書くとき)真似したい／参考にしたい

2. 説明的文章(説明文・(小学校)意見文／(中学校)論説文・評論文・記録文)の場合

「全文の中から、次のように思った文を、3文選んで視写しなさい。」

- 分かり易い
- 組み立てが明快だ
- 要点を述べている
- (自分が説明したり発表したりするとき)真似したい／参考にしたい

効果

1. 子ども達は、一文一文を丹念に読むことになる。
2. その文を選んだ理由をまとめたり述べたりすることで、主体的に読む力が育つ。

関連

1. 一人一人のペースが違うので、教室よりもむしろ家庭学習で行うのに向いている。つまり、補習授業校の構造がかえって強みとなって表れる学習である。
2. この学習は、文学的文章・説明的文章とも、それぞれの学習目標の本質にふれるものである。
3. 授業中に取り上げた文を選んでも構わない。その文をなぜ選んだかについての認識があればよい。

お問合せ先

初等中等教育局国際教育課